



世田谷区立砧中学校図書館 図書館だより

令和7年1月号



砧中図書館から「ごきげんよう」！

新しい年を迎えるみなさんは、今年1年の新たな目標を掲げていることでしょう。毎日の忙しさのなかで、ついつい忘れてしまいがちですが、1か月ずつでもいいので、小さなレベルアップを積み重ねて、1年後には大きな変化を遂げられるといいですね！

今年は巳年。脱皮を繰り返し、細く長く、がんばっていきましょう！

1月の
特集展示

今年は巳年
ヘビが出てくる本



ヘビは毒を持つものもいて、突然居合わせたらドキドキしてしまう動物の一つですね。神のつかいとして語られることが多く、日本の神話にも恐ろしいものとして、また、身近な神様として、たくさん登場します。太古の昔から、ヒトの暮らしのそばにいたことがわかります。

ヘビの出てくるお話の本と、ヘビの生態を知る本を集めました。

『いきもので読む、日本の神話

身近な動物から異形のものまで集う世界』

平藤喜久子/著 ホリナルミ/絵 東洋館出版社
(164/ひ)

「日本神話」と総称される神々の物語は、奈良時代に編まれた古事記、日本書紀、風土記が大元となっています。

大昔から、人々の暮らしにも神々の世界にも、たくさんのいきものたちがともにあったのです。

『日本のカメ・トカゲ・ヘビ 増補改訂』

松橋利光/写真 富田京一/解説 山と渓谷社
(487/ど)

カメ・トカゲ・ヘビの成体(おとな)と幼体(こども)の写真から、その種類を知ることができます。砧中に近い、仙川沿いでは今でもヘビの姿を見ることがあります。あれはアオダイショウか、シマヘビか…？

『現代変化物語 あやかし草子』

那須正幹/作 タカタカヨリ/絵 日本標準 (913/な)

江戸時代に上田秋成が書いた『雨月物語』という怪談集があります。『現代変化物語あやかし草子』は、『ズッコケ三人組シリーズ』で有名な児童文学者の那須正幹さんが、雨月物語のうち数編を、現代版に書き換えた短編集です。『ヘビの目』という話が入っています。

1月の特集展示
本の福袋、やっています！

特集のテーブルに「本の福袋」を用意しております。

中は借りてみてのお楽しみ！

ひとり何回でも利用できます。

ぜひ、図書館にきてね！



1月の 開館日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
昼休み						
放課後						
	6	7	8	9	10	11
昼休み			×	○	○	—
放課後			×	○	○	○
	13	14	15	16	17	18
昼休み	○	○	○	○	○	
放課後	○	×	○	○		
	20	21	22	23	24	25
昼休み	○	○	○	○	○	
放課後	○	○	×	○	○	
	27	28	29	30	31	
昼休み	×	○	○	×	○	
放課後	×	○	×	×	○	

○=開館

×=閉館

赤色=休日